

プレスリリース

超薄型超音波センサー UF200 : ブラインド範囲を最小限に抑え、パフォーマンスを最大化

(2024年9月4日) この非常に薄いUF200超音波センサーにより、Baumer社は物体検出と距離測定の実現可能性の限界を再び押し広げました。わずか20.5mmの新しいUF200は、ブラインドレンジが非常に短い、最も薄いフロントマウント用超音波センサーです。最大2000mm（透過型）の検出範囲を持つUF200は、これまで設置スペースが不十分なために実現できなかったアプリケーションでの使用を可能にします。



エンジニアリングの自由度を高める革新的なセンサー設計

このような自由度を実現するために、Baumer社の設計エンジニアは超音波センサーのコンセプトを再考し、電子レイアウトとプログラムされたアルゴリズムの面で実現可能なものを最大限に活用しました。その結果、先駆的なNexSonic®テクノロジーは、特殊なASIC（特定用途向け集積回路）を使用した、革新的なセンサー設計、超音波テクノロジーを次のパフォーマンスレベルに引き上げる動的信号評価が実現しました。Baumer社製超音波センサーにおいて、最も短いブラインドレンジのこのセンサーは応答時間に関しても過去最高速の最大10msの応答スピードとなっており、これがUF200の処理速度を大幅に高速化できる理由です。

最先端技術を搭載した超音波センサーポートフォリオ



UF200は、クラス最高の性能とスマートな機能の特徴とするBaumer社の超音波センサーツールボックスのNexSonic®は世代の最新製品です。新しい超音波技術により、Baumer社は真のイノベーションがユーザーに付加価値をもたらすことを再び証明しています。

超音波センサーツールボックスは、デザインとサイズが異なる5つの製品ファミリーUF200、U300、U500、UR12、UR18で構成されています。UF200はフロントマウント用ですが、U300（角形）とUR12（円筒形）は特に狭い設置スペースにも収まります。U500（角形）とUR18（円筒形）は非常に堅牢です。

あらゆるアプリケーションで測定可能な付加価値

IO-Linkインターフェース経由のスマートフィルターオプションにより、NexSonic®超音波センサーは、どのような状況でも信頼性があります。

2つの例:

- 適応型ソニックコーンにより、検出困難な対象物や狭い開口部内のメディアを簡単に検出できます。
- ポイントレベル検出では、インテリジェントな妨害フィルターにより、攪拌機やその他の干渉対象物が測定結果に悪影響を与えないようにします。

このようにして、1つのセンサーで複数のアプリケーション要件を確実に満たし、バリエーションの数を減らすことができます。

※このドキュメントはBaumer社の発行するプレスリリースを基にハヤシレピックが作成したものです。